

「二十歳の集い実行委員会との語る会」

日時：11月26日（水） 午後7時から（会 場：区役所庁議室）

◇区立小学校のクラス数について

質問	回答	対応
<p>私には弟がおり、現在小学校に通っていますが、私が小学生だった頃に比べてクラス数が少なくなっているように感じます。</p> <p>おそらく少子化の影響かと思いますが、区としてはこのような状況で、どのような取組みを行っているのでしょうか。</p>	<p>現在の台東区立小学校の児童数は、学校によっては人数が減っており、クラスの数も減っている学校もあります。しかし、皆さんが小学6年生だった平成29年度と比べると、区全体で児童数は200人ほど増えています。</p> <p>その上で、区では学校に対し、現在は特に物価高騰等の影響により、家庭の経済的支援の充実を求める声が多く、そのため令和5年1月から、23区では1番最初に学校給食の食材調達の全面支援に取り組みました。また、今年度からは区立小・中学校等に通う児童・生徒を対象に、学校の教育活動で使用するドリル・資料集等の補助教材や、リコーダー・習字道具等の学用品等にかかる費用を補助しています。</p> <p>区では学校に対する支援を行って、保護者の経済的な負担軽減を図るとともに、様々な子育て支援施策にも取り組んでおり、これからも安心して子供を生み、育てることができる環境を整備してまいります。</p>	<p>—</p>

◇成人を迎えた私たちが地域のためにできることについて

質問	回答	対応
<p>観光客も多い台東区で成人を迎えた私たちに、地域に貢献できる場面はどのようなところにあるでしょうか。</p> <p>台東区は浅草・上野をはじめとして、伝統や文化財が多数存在している日本を、とてもよく感じられる場所でもあるため、海外からの観光客が多いです。</p> <p>また、台東区出身の人は、台東区にそのまま残る人が多い印象があるため、生まれ育った台東区の魅力を、私たち自身が伝えていければ良いなと思います。</p>	<p>地域への貢献方法は多岐にわたります。例えば、ボランティア活動等を通して、観光客や次の世代へ本区の多彩な歴史や文化を伝えていくこともその一つです。</p> <p>さらに、町会に協力することも貢献の一つだと思います。私たちの生活で身近な「町会活動」は、安全・安心な生活を守るために、大切な役割を果たしています。そのような活動を通じて地域と関わることで、新たな出会いや地域の魅力を発見できるかもしれません。</p> <p>将来なってほしい台東区の姿を思い描きながら、ご自身の興味や特技を活かして、地域に携わっていただければ嬉しく思います。それにより、多くの方々に台東区の魅力を伝えていただければより嬉しく思います。</p>	<p>—</p>

◇私たちにとって台東区がどうあってほしいかについて

質問	回答	対応
<p>私たちが生まれ育った台東区は、歴史深く、文化が根付いたまちですが、今後このまま台東区に残る人も、区外へ出ていく人も多いと思います。</p> <p>その中で、台東区がどのようなものであってほしいと考えているのでしょうか。また、そのために政策を行っていたり、考えていたりしたら教えてほしいです。</p>	<p>私が考える台東区の魅力のひとつに、「江戸からつながる歴史と文化」があると思います。江戸は世界でも稀な100万都市であり、成熟したまちであったため、未来に活かす点が多くあります。</p> <p>そこで区では、江戸から明治へと時代が変わり、150年の節目であった平成30年を「江戸ルネサンス元年」と位置付け、講演会やガイドツアーの開催など様々な取組みを行ってまいりました。</p> <p>今後も台東区に息づく多彩な江戸の文化や資源、「江戸たいとう」の魅力について発信し、区民の皆さんの郷土意識と誇りを一層深めてまいりたいと思います。</p>	<p>—</p>

◇台東区のこれからも残していきたいものについて

質問	回答	対応
<p>中学生の頃、生徒会として「区長と語る会」に参加させていただいた際にこのようなテーマで発表をした覚えがあるので、約5年経った今の台東区で、残していきたいものや無くしたくない文化・伝統についてお聞きしたいです。</p>	<p>台東区内には四季折々の伝統行事や、上野の山の文化施設、浅草の大衆芸能、江戸時代以来の暮らしに根差した生活文化など、長い年月で培ってきた文化資源があります。こうした数多くの歴史的建造物や伝統行事、伝統芸能等を確実に保存し、次世代に継承していくため、区では様々な施策を行い、「江戸たいとう」の魅力発信に努めています。</p> <p>また今年、リニューアルオープンした区立したまちミュージアムでは、下町の歴史・社会風俗・生活資料の収集、展示を行っており、昭和30年代の建物や街並みを原寸大で再現するなど、多くの来場者の皆様に好評をいただいています。</p> <p>引き続き、芸術・文化の着実な継承に向けて取り組んでまいります。</p>	<p>—</p>

◇若者の未来について

質問	回答	対応
<p>未来にあまり希望を持ってないのですが、私たち若者の未来は明るいでしょうか。</p> <p>明るくするためにはどのように行動していくのが良いとお考えですか。</p>	<p>今を生きる若い世代の皆さんの率直な思いであると受け止めています。確かに現代の社会はあらゆる分野で、様々な困難に直面しており、また多くの情報にあふれ、不安が増大しやすい状況にあると思います。しかし、若い世代の皆さんには、明るい未来を築く大きな可能性があると考えています。</p> <p>台東区は今年3月に、「次世代育成支援計画」を策定し、若い世代に向けた施策を実施しています。そして、令和11年度には「(仮称)北上野二丁目福祉施設」を開設し、生きづらさを抱える若者に向けて、居場所づくりや相談支援などを実施していく予定です。</p> <p>また、地域や学校と一体となって「花の心プロジェクト」を推進しています。台東区の花である朝顔をはじめ、四季折々の花でまちを彩り、「花の心」で思いやりの心、うるおいのあるまちを目指しています。</p> <p>詩人の坂村真民の詩集の一節に、「念ずれば花ひらく」という言葉があります。「念」という漢字は「今」の「心」と書きます。今の心を大切に、前向きに生きてください。必ずあなたにふさわしい道が開けます。</p>	<p>—</p>

◇選挙について

質問	回答	対応
<p>何年か前に投票権が18歳まで引き下げられ、自分が18歳になってから投票に行き、選挙に興味を持ちました。</p> <p>実際に投票率は上がったり、変化はあったりしたのでしょうか。あったのならどのように変化したのか、お聞きしたいです。</p>	<p>平成28年の参議院議員選挙から、選挙権年齢が「満18歳以上」に引き下げられ、台東区における18歳の投票率は64.19%でした。区全体の投票率の57.26%より約7ポイント高く、選挙権年齢が「満20歳以上」だった平成25年の参議院議員選挙に比べて、3ポイント高い投票率でした。</p> <p>一方で、19歳から29歳までの若年層の投票率は現在もなお低い水準にとどまっており、効果的な選挙啓発が今後の課題となっています。若年層の声が政治に反映されるためには投票することが重要であり、投票を通じて意思表示をすることで、皆さんの要望等が政策形成に組み込まれる可能性が高まると考えます。</p> <p>選挙管理委員会事務局では、「二十歳の集い」での選挙啓発品の配付や、期日前投票立会人に若年層を公募するなど、啓発活動を行っていますが、より効果的な啓発について検討してまいります。</p>	<p>—</p>